

令和5年第1回 清瀬市まちづくり委員会議事要旨

【開催日時等】

日時：令和5年1月23日（月）午後6時から8時10分まで

場所：清瀬市役所4階研修室

【出席委員】

朝倉委員、井澤委員、上村委員、有働委員、大森委員、菊谷委員、小寺委員、佐合委員、佐々木委員、関委員、関根委員、田鹿委員、竹内委員、花岡委員、早坂委員、前川委員、望月委員、山村委員、柳瀬委員

事務局：企画部担当部長、シティプロモーション課事業担当課長、市民協働係係長、市民協働係主事

【配布資料】

第1回まちづくり委員会次第

令和4年まちづくりフォーラム 実施報告書

まちづくりフォーラム アンケート結果

まちづくり委員会 アンケート結果

まちづくり委員会とは まちづくり委員とは

令和5年 グループ分けについて(案)

まちづくり委員会のきまり(案)

令和5年の取り組み（委員からの意見）

【議事】

1 開会

2 事務局より

配布資料の確認

3 正副委員長を選任

委員長 関根委員

副委員長 竹内委員

※委員長、副委員長ともに立候補による。

4 報告事項

(1) まちづくりフォーラム 実施報告

まちづくりフォーラム参加者29人のうち21人が回答。資料「まちづくりフォーラム アンケート結果」参照

(2) まちづくり委員会 アンケート結果

全員が回答。資料「まちづくり委員会 アンケート結果」参照

(3) まちづくり委員会とは

事務局より説明。

意見及び質問等は委員会後に事務局へ提出する。

5 審議事項

グループについて

副委員長がグループ分けについて説明

〈意見等〉

委員長 令和5年のグループ分けは委員の希望をききながら決めたいと考えている。

グループ分けをしたことで、話し合いの場で発言がしやすかったという意見がある一方、他のグループのことがよくわからなかった、見えなかったという意見も出ている。

協議事項にあるが、運営委員会には各グループの代表者に出席してもらいたいと考えている。そのため、2から3か月でグループメンバーを入れ替えることは難しい。グループメンバーは1年間固定したいがどうか。

委員 まちづくり委員会は市民からの提案を審議すること、条例が適切に運用されているかを審議することの2点あるが、グループを固定すると、他のグループの取り組みが把握できない。

また、運営委員会で決まったことを本会議で報告したときに、それに対する意見が出ると振り出しに戻って進まなくなるという心配がある。

委員 市民から提出された提案が「継続審議」となっているものが多い。グループ分けをするよりも2月、3月は市民提案の審議を優先し、委員全員で市長提言候補か担当部署案件か振り分けてはどうか。

その後、市長提言候補になった提案について、関心のある委員でグループを作り、提言へまとめていくのはどうか。

委員 市民提案に対して議論できていない。現在「継続審議」となっている提案のうち、フローチャートで市長提言候補か担当部署案件か判断しやすいものから振り分けるというのはどうか。振り分けが難しい提案については改めて議論していくという方法も考えられる。

委員長 フローチャートにあるヒアリングの部分だが、提案者に対して質問したことに対し、提案者からご意見をいただいたことを考えると、フローチャートの結果、市長提言候補となった提案で、提言へ進める中で詳細をきく必要があると判断した場合のみ、事務局をとおして詳細を伺うことにすればよいと考えている。その前の振り分けをまず行えばよいと考える。

委員長 「継続審議」を優先して審議したあとにグループ分けを行うと、各グループの取り組みの年間計画を立て実施していくまでの期間が短くなる。

例えばWSグループで市民とのグループワークの検討を4月から行って実施できるのかという課題がある。条例運用審議グループでは、令和4年に実施した調査に対する評価をしたが、その後の対応をどのようにするか検討する時間が必要である。

このことからグループ分けは本日の会議で行いたいと考えている。

委員 「令和5年の取り組み（委員からの意見）」で意見を出したが、市民提案の審議は3か月を1クールと考えている。2月から4月は委員全員で「継続審議」の提案を審議し市長提言候補か担当部署案件か振り分け、その後グループに分かれてもよいと考得ている。

委員 委員全員が市民提案をしっかりと審議したいと考えているが、どのように審議するか、その方法が大事だと考える。20人全員で審議する場を設けると意見を出しにくい委員もいるかもしれない。それをふまえると少人数のグループを作る方が意見を言いやすい。小グループで出した結果を発表し、委員全員で最終結果を出すという方法がいいと考える。

委員 市民提案を審議し、市長提言とするまでにどのくらい時間がかかるのか考えたとき、フローチャートで市長提言候補となったものをその後の2、3回の委員会で市長提言としてまとめるのは違うと考えている。一つの提案を市長提言にまとめるためには1年かかると考えている。

市長へ提言した提案が採用してもらえよう委員会で検討する必要がある。施策でわからない部分は行政から状況や意見等をきき、実現実行できるような提言にまとめなければならないと考える。

副委員長 今までの意見の中で、提案者に対し我々の委員個人から連絡等は一切しないことは承知いただきたい。

また、より多くの市民提案を受け、委員会の目的を実現するために市長提言へまとめ、実現してもらいたい提言とする。これを実現するためにどのようなことが必要なのかということであり、あらゆる手段を使って取り組むというのが委員会の役割だと考える。

グループを固定することで他のグループの取り組みがわかりにくくなることについては、各グループの取り組みを発表する場を作りたいと考えている。

委員長 現段階で、「継続審議」の市民提案を審議すべきだということは一致している。

2月、3月は1グループ4人の小グループで議論した後、委員全員で審議することに取り組むということによりか

委員 了承

委員 グループについて、以前はワークショップを開催していなかったため、提案審議と条例運用審議の2グループとし、WSグループは別に考えてはどうか。

委員 令和4年はWSグループにいたが、市民提案についてじっくり取り組めなかったので、提案審議は全員で行うことはよい。

WSについては、何も検討していない状態だが、有志でもよいので1年とおして検討することは必要だと考える。

委員 令和4年は提案審議グループにいたが、意見を交わす中でゴールが見えなかった。メンバーの意見が平行線のまま進んでしまうことがあったので、どのように進めていくのかが大事だと考える。

委員 スケジュールを含めてゴールを見定めて進めるべきである。WSグループではない委員の中には開催に向けて意見があったと思われる。WSについても委員全員で検討した方がよい。

また、グループワーク以外の取り組みも考えられることから、WSグループ

以外の委員から意見が出せる場や、WSグループから委員に対して協力を求められる場が必要だと考える。

委員 WSグループについてだが、以前のまちづくり委員会にはなかった。まちづくり委員会の目的の提案審議と条例運用審議は行わなければならないが、WSを委員全員がやる必要があると考えているのか確認する必要があるのではないか。

委員 提出された提案が市長提言候補になった際、関係者や市民から意見をきき一人の意見だけではなく、複数の人が同じような意見を持っていると示すことが、提言を実現する上で効果的だと考える。WSを開催しなくてもよいという意見もあると思うが、提言へ向けてまとめていく上でWSの方向性や開催方法を考えたらいいのではないか。

委員 委員会に参加する上で所属が決まっている方が活動しやすいと考えるため、グループメンバーを決めることは賛成。

委員長 2月、3月は市民提案の審議を優先するが、この場で各グループのメンバーを決定することでよいか。

委員 了承

令和5年 グループメンバーと役割

グループ名	委員	役割
提案審議グループ	○大森	<ul style="list-style-type: none"> ・継続及び新規において、主に優先される提案内容について検討する。 ・フローチャートを活用し、提言候補または担当部署案件かをグループ内で決定する。必要なときは提案者へのヒアリング案を作成する。 ・審議結果の理由を明確化し提案者への通達の内容を調整し事務局へ報告する。 ・フローチャートの見直しを行う。 ・過去の提言（提案）のフォローアップについて検討する。
	○前川	
	朝倉	
	井澤	
	上村	
	佐々木	
	田鹿	
	増田	
	望月	
柳瀬		
条例審査グループ	○有働	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年の調査結果に関するフォローアップの方法を検討する。 ・R4年の調査をふまえ、R5年の実施内容の検証を行う ・R5年の調査結果に対し、評価案を作成する。
	菊谷	
	関	
	山村	
ワークショップグループ	小寺	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会の周知の検討をする。 ・市民ワークショップの開催に向けて検討する。 ・まちづくりフォーラムの企画、運営を行う。
	佐合	
	花岡	
	早坂	

まちづくり委員会のきまり(案)

事務局より「まちづくり委員会のきまり(案)」について説明。案についての意見は事務局へ提出する。

「まちづくり委員会のきまり(案)」項目1(2)については了承し、各グループから委員を選出

提案審議グループ 大森委員・前川委員

条例運用審議グループ 有働委員

WSグループ リーダーは置かず、輪番制で運営委員会に出席する。

7 その他

市長への提言の進捗について事務局より説明

2月に部長級、課長級の集まりがあるため、説明の場を設ける。その上でどのように取り組むかは委員長、副委員長と協議して進めていきたい。取り組みについては報告する。

8 閉会

次回 令和5年2月20日(月) 午後6時～8時 清瀬市役所 研修室